

(2020年3月)

ハイチ共和国・政治・経済・社会情勢月報

<要点>

【政治】

- 内政：ジュトゥ内閣発足（4日）
- 内政：コロナウィルス対応のための非常事態宣言発出（19日）
- 外交：台湾大使に対するペルソナ・ノン・グラータ（12日報道）

【経済】

- 経済：世銀とEUによる支援表明（6日）

【社会】

- 社会：警察官の待遇改善要求に対する首相の容認（10日）
- 治安：主要病院の医者の誘拐事件（27日）
- 治安：米・仏政府によるハイチ渡航レベルの引き上げ（5日，20日）

1 政治

(1) 内政：ジュトゥ内閣発足

- 2日 モイーズ大統領がジュトゥ環境大臣を首相に指名し，4日，ジュトゥ内閣が発足した。

(2) 内政：コロナウィルス対応

- 9日 政府は，中国，韓国，イタリア，フランス，ドイツ5カ国からの渡航者を乗せている航空機のハイチへの上陸を禁止する旨発表。
- 15日 ジュトゥ首相が，コロナウィルス感染予防のために，翌16日（月）から欧州，カナダ，ドミニカ共和国，ラ米諸国からの飛行機の入国禁止を発表した。
- 19日 モイーズ大統領は，2名のコロナウィルス感染者が出た旨の発表とともに，一ヶ月間の非常事態宣言を発出し，20日（金）からすべての学校の閉鎖、夜20時から朝5時までの夜間外出禁止、及び10人以上の会合禁止、19日深夜からすべての空港と港の閉鎖を発表した。

(3) 外交：台湾大使に対するペルソナ・ノン・グラータ

- 12日 当地紙は，Liu 台湾大使に対してペルソナ・ノン・グラータが発動され，台湾大使がハイチを離任したと報じた。

2 経済

- 6日 世銀がカパイシアン市の開発のために56百万ドルの融資を発表した。EUも財政支援を再開する旨を表明した。

3 社会

(1) 社会：警察官の待遇改善要求に対する首相の容認

- 9日 「ファントム 509」と称する現役及び元警察官とギャングのグループが中心となり、罷免された5名の警官の復職と、警官の待遇改善を求める警察官デモがデルマ地区で再び発生し、ペションビルに向けて行進する途中、首相府に押し入ろうとする事件が発生した。10日も小規模ではあるが警官デモが継続され、11日（水）には内務地方自治省の門扉が打ち破られる事件が発生した。
- 10日 ジュトゥ首相が警察官の労働組合結成権を容認する旨発表した。

(2) 治安：主要病院の医者の誘拐事件

- 27日 首都の主要な病院であるベルナル・ムヴス病院の共同経営者の一人ビタール医師が何者かによって誘拐される事件があったが、翌日、無事に解放された。

(3) 治安：米・仏政府によるハイチ渡航レベルの引き上げ

- 5日 米国政府は、犯罪、市民の不安、誘拐（米国民も被害）を受けて、ハイチへの渡航レベルを4（渡航中止勧告）に引き上げた。
- 20日 フランス政府は、前日の空港閉鎖とドミニカ（共）との国境封鎖を受けて、渡航中止勧告に引き上げた。